

「体験実習を終えて」

愛知県立春日井高等特別支援学校 二年

青井 愛

今回の体験実習で、私は新刊や雑誌などを売る仕事の会社へ実習へ行きました。実習前の目標は、二つあります。一つ目は、自分から仕事を探し、動くことです。任された仕事が終わっても自分から仕事を探すことで、指示を受けるまでの間も働けると思いいこの目標にしました。二つ目は、丁寧な言葉で受け答えをし、早口にならないようにすることです。学校で使っている言葉よりも、丁寧な言葉にすることで相手の方への印象も良くなると思いました。また、私は早口になってしまふことがあります。なので、丁寧な言葉でゆっくりと話すことで相手の方へしっかりと伝わると思いいこの目標にしました。この目標を意識して取り組めるか、実習前は緊張していました。

私が任された仕事は、店内の掃除や本のさし替え、本の予約です。その中でも、特に大変だった仕事は、パソコンを使った本の予約です。お客様からの注文なのか、お店の補充で注文するのか、また個数や値段も正確に見て打たないといけないので大変でした。

仕事をしていく中で、会社の方と話しているときに「いつも笑顔だね」と言われ、嬉しかったです。また、仕事が終わったときに飲み物をいただきました。会社の方のお気遣いがとてもありがたく、とても嬉しかったです。

本をあつかう仕事なので会社の方に「本の角で指を切らないように気を付けて」とアドバイスをいただきました。なので、雑誌などの大きい本は特に注意して仕事をした結果、けがをせず安全に作業をすることができました。

今回の実習で細かい所まで気を遣う大切さを学びました。実習中はモップを使った掃除もありました。店内は一見きれいに見えましたが、細かい所まで見るとよごれている所がありました。また、本棚を整頓するとき、乱雑だった本棚がありました。そのときに、ただきれいにするだけでなく、工夫してならべらることをしました。このように、細かい所まで

気を遣う大切さを学びました。

この五日間、大変だった仕事もたくさんありましたが、そのつど職場の方にアドバイスをいただきました。この実習を終えられたのは職場の方々の支えがあったからだと思います。最終日の帰り道は、五日間やり切ったという気持ちと、職場の方々への感謝の気持ちで一杯でした。

この実習を通して、声の大きさや話すスピードなどの自分の課題に改めて気づくことができました。なので、自分の課題をこれまでに以上に意識し、学校生活を送っていきたいと思います。